

令和8年度 第2回 部長会議記録（要旨）

開催日時：令和8年4月13日（月）13時00分から13時30分まで

開催場所：第二委員会室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、岡本総務部長、佐々木企画部長、下平リニア推進部長、牧内リニア駅周辺整備担当参事、林市民協働環境部長、下井ゼロカーボンシティ担当参事、藤本福祉部長、山崎こども未来健康部長、市瀬産業経済部長、浅野産業経済部参事、小倉建設部長、馬場建設部参事、後藤危機管理部長、井田上下水道局長、福岡市立病院事務局長、佐々木会計管理者、筒井議会事務局長、秦野教育次長、堤社会教育担当参事、小澤財政課長、松井秘書課長、滝沢南信州広域連合事務局次長、櫻井企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

＜市長＞

- ・リニア中央新幹線静岡工区の懸案事項に係る専門家会議が3月に終了したとの報道があり、着工の環境が整いつつある。開業時期が示されたときに、飯田市としてどのような形で行動を起こしていくか、今から各部で準備しておくこと。
- ・セイコーエプソン株式会社が桐林クリーンセンター跡地においてバイオマス発電事業を実施予定だったが、3月末に計画を中止するという表明があった。飯田市が中心となって行ってきた企業誘致ではあるが、残念ながら中止となる。
- ・かねてより市長あいさつ文は用意不要と言ってきたが、担当職員にとっても手間になるので用意不要である。特に来賓として臨むあいさつは原稿をそのまま使うことができない。あいさつ文ではなく、その会議等の趣旨、次第、出席者など概要が分かる情報が欲しい。市が主催する式典やイベントでは、あいさつ文を用意してもらう場合もあるが、必要か確認したいときは秘書課長に相談すること。特に言ってほしい内容、言わないでほしい内容があれば合わせて報告すること。

＜副市長＞

- ・市役所職員サークルに「ねづえの会」という山登り愛好会がある。亡くなりたいところが入っていたのだが、サークルメンバーの皆さんが先日墓参りをしてくれた。年齢も勤務歴も異なるが、定年を過ぎてもつながって豊かな生活をしていたのだなと想像した。サークルや趣味があると、退職後も長く豊かな人生を送れる。車いす、家族の看病など境遇は人それぞれだが、趣味やサークルも、働き方改革の一環として大切な要素である。

＜教育長＞

- ・先週は各校で入学式が執り行われた。
- ・小学校の1年生で学年人数が少ないところは千栄小学校が1人、上村小学校2人、和田小学校3人となっている。6年生と比べて全体で約150人減っており、減り方が激しく感じる。
- ・リニア中央新幹線が開業したとき飯田市が何を指すのかということを考えると、学校、教育は強みにしていかないといけない。少人数の良さ、地域や自然とともに学ぶ姿を基礎に、学園ごと特色を磨いていく必要があると改めて感じた。入学式は地域の方をお呼びして行うので、つながりをつくる最初の大事な機会でもある。

2 連絡事項

(1) 市施設における低濃度PCB含有機器の確認及び廃棄について（総務部）

◇趣旨

- ・低濃度PCB含有機器の確認及び廃棄について周知徹底する。

- ・処分に係る補正予算が必要となる場合は、4月22日（水）正午までに財政課へ報告すること。

◇意見

(議会事務局長)

- ・教育委員会の所管施設に該当機器があったとのことだが、過去に調査をした経過があり、含有機器はもう「無い」という認識でいるが、今回新たに確認する理由は、

(総務文書課長)

- ・平成31年の調査は、高濃度PCB含有機器を中心とした調査であった。その中に蛍光灯や水銀灯が含まれているため、一定の調査はされている。ただし、今回対象とする低濃度PCB含有機器を網羅しているのかは不明であり、総務文書課としても把握はしていない状況。教育委員会の中に含有機器があることを確認していたが、全庁的に確認することとした。まずは平成31年の調査内容を確認した上で、今回の調査を進めることが適当である。

(市長)

- ・教育委員会で該当機器があった施設はどこか。

(教育次長)

- ・旧飯田市公民館、鼎体育館、B&G海洋センターのコンデンサーに含まれていることを確認している。

(企画部長)

- ・各部で調査の上、補正予算要求に間に合うよう対応をお願いします。

3 閉会